

令和 6 年度 事業所評価アンケート 配布数 5 枚 回収数 5 枚 回収率 100%

1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか

5 件の回答



〈今後の方策〉

支援室は全部で 5 部屋あります。そのうち 1 部屋は、リラックスできる空間「スヌーズレンルーム」としてしています。面積基準はありませんが、一人当たり 2.47 m²(1.6 畳)以上が望ましいとされ、きずな園の支援室はすべてそれ以上の広さが確保できています。

2 職員の配置数は適切であるか

5 件の回答



〈今後の方策〉

児童発達支援管理者 1 人、児童発達管理責任者 1 人、言語聴覚士 1 人、保育士 2 人、児童指導員 1 人が兼務で従事し、国の配置基準を満たしています。

3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか
5 件の回答



〈今後の方策〉

保健福祉センターの性質上、バリアフリーに特化した建物になっています。

4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか
5 件の回答



〈今後の方策〉

月 2 回ミーティングを行い、計画等を話し合って実行し、その後実行した結果について振り返るようにしています。次回に向けた改善点の意見も出し合い、よりよいものが今後計画、実行できるようにしています。

5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか

5 件の回答



〈今後の方策〉

毎年アンケート調査を実施し、本人、家族の意向を把握しています。今後も必要な改善を図っていきます。

6 この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか

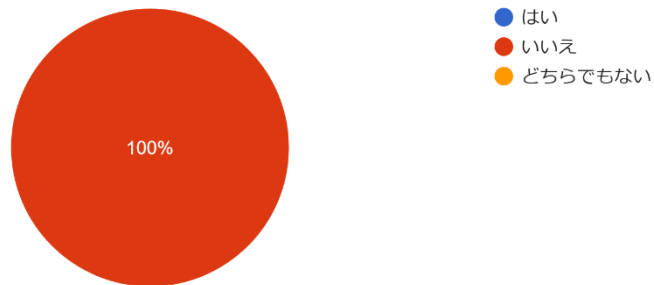
5 件の回答



〈今後の方策〉

自己評価の結果は、町のホームページで公開しています。また、役場のまちづくり情報コーナーときずな園事務所のカウンターでも閲覧できるようにしています。きずな園利用児童の世帯には、自己評価の結果を配布しています。

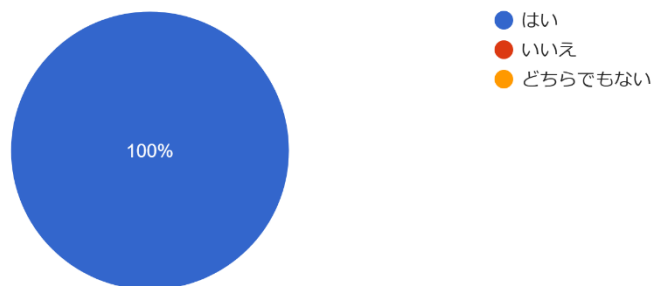
7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか
5件の回答



〈今後の方策〉

内外部による評議委員会の設置を検討します。

8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか
5件の回答



〈今後の方策〉

ハイブリット形式の研修もありますが、今年は札幌や函館へ研修受講の機会もあり、今後も資質向上のため、職員が研修を受けられるようにしていきます。

9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか

5 件の回答



〈今後の方策〉

毎月、個別支援計画検討会議を実施し、モニタリング期間を迎えた利用児童の評価を行っています。この評価をもとに本人と家族のニーズを照らし合わせ、実現できそうな具体的な目標を立てた個別支援計画書を作成しています。

10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

5 件の回答

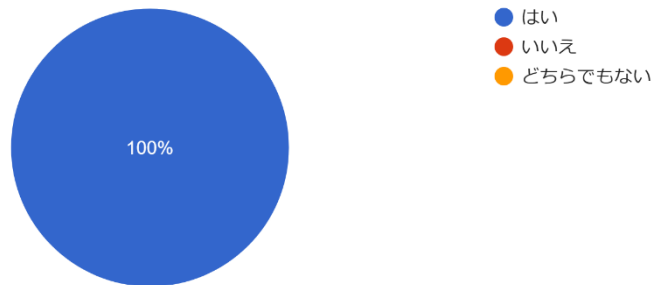


〈今後の方策〉

就学前(5 歳)の利用児童には発達検査、小学 1、3、5 年生の利用児童には知能検査を実施、得意なことと苦手なことを客観的に把握し、家族、各関係機関等と共通認識、共通理解を図っていきます。

11 活動プログラムの立案をチームで行っているか

5件の回答

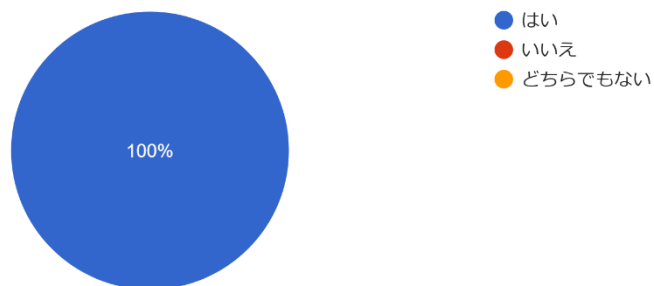


〈今後の方策〉

グループ支援を行う前には担当者同士で、ねらい等を話し合い、活動プログラムを立案し実施しています。

12 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか

5件の回答



〈今後の方策〉

利用児童各々の個別支援計画に沿って、目標が達成できるように活動プログラムを立案しています。

13 平日や学校が休みの場合、また、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援をしているか

5 件の回答



〈今後の方策〉

小学生以上を対象に学校の夏期、冬期休業期間を利用してグループ支援で自立活動(入浴、買い物、調理等)の計画を立てて実施しています。今後も個々の生活レベルや能力に応じて、将来生活で必要となる技能の獲得のためのプログラムを組んで支援していきます。

14 子どもの状況に応じて、個別活動とグループ活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか

5 件の回答



〈今後の方策〉

個別は基礎的な知識を得る学習体験、言語指導や運動支援を行い、グループでは相手とのやり取りを通して社会的コミュニケーション能力の向上、生活で必要となる技能を身につけるトレーニングを行うなど個別、グループと個々に合わせた個別支援計画を作成し、支援を行っています。

15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか

5 件の回答



〈今後の方策〉

朝礼で職員の動向を確認しています。

16 支援終了後には、職員間で打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか

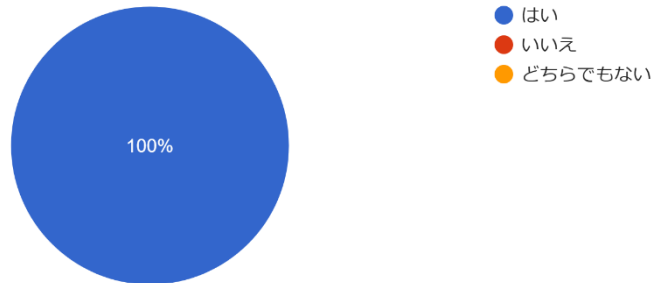
5 件の回答



〈今後の方策〉

全職員で毎日振り返りを行うことは難しいですが、今後も必要に応じて行っていきます。

17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか
5件の回答



<今後の方策>

支援記録は毎月、児童発達支援管理者と児童発達支援管理責任者が確認しています。

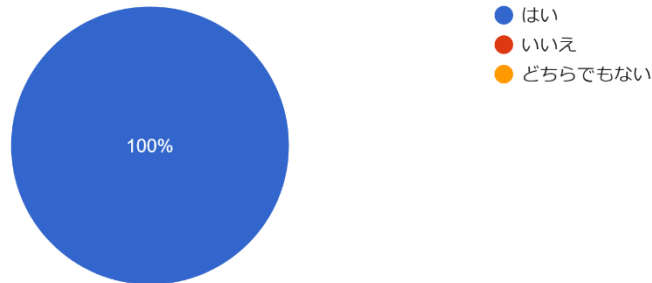
18 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか
5件の回答



<今後の方策>

利用児童は6か月に1回のモニタリングを行い、毎月実施している個別支援計画検討会議で協議、検討し、必要に応じて適宜個別支援計画を見直しています。

19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか
5件の回答



〈今後の方策〉

国のガイドラインを基に支援を行っていますが、社会経験の幅を広げる意味での地域との交流を図ることが少なく、今後の課題です。

20 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか
5件の回答



〈今後の方策〉

主に小学生、中学生を対象にサービス担当者会議が年間で計画されています。保護者の希望と依頼のもと、会議には利用児童の担当職員が出席しています。

21 所属所との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか

5 件の回答



〈今後の方策〉

毎月、町内のこども園や小学校、中学校の行事予定を確認し、行事と支援日が重なる場合は、本人と保護者の意向に合わせて療育を行っています。利用児童の所属所と情報共有、連絡調整を適宜行っています。

22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか

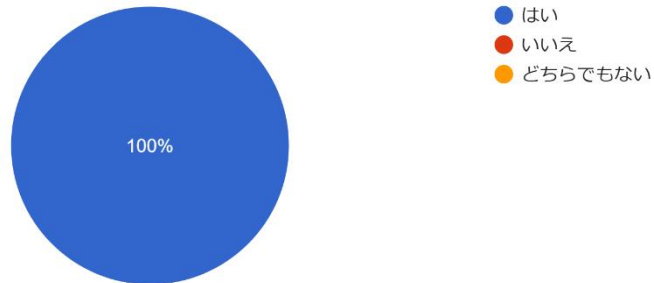
5 件の回答



〈今後の方策〉

医療的ケア児等コーディネーターを子育て支援課に 1 名配置しています。必要に応じて関係機関と連携していきます。

23 自立支援協議会等へ積極的に参加しているか
5 件の回答



〈今後の方策〉

児童発達支援管理者が出席しています。

24 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか
5 件の回答



〈今後の方策〉

基本月 1 回、保護者と面談する機会をつくり、利用児童の成長について話し合う時間を持つようにしています。今後も継続して保護者と話し合う時間を確保していきます。

25 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対し子どもの養育技術を獲得してもらうための練習を行っているか

5 件の回答



〈今後の方策〉

療育で学んだことを家庭でも実践してもらえるように具体的な助言を心掛けています。上手に出来たことを保護者に褒められ、認めてもらえることで、より子どもの能力が発揮されていくと考えていますので、今後とも親子の成長を促すための助言をしていきます。

26 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

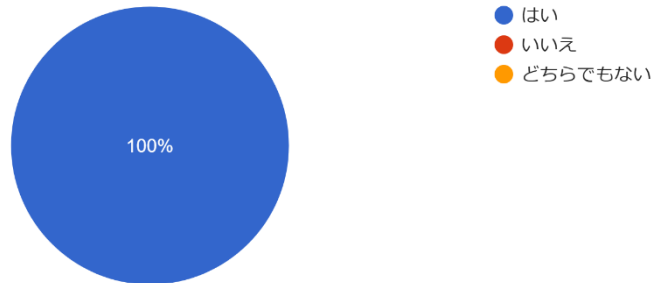
5 件の回答



〈今後の方策〉

今後の契約時に丁寧に説明していきます。

27 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか
5 件の回答



〈今後の方策〉

専門性を活かした助言が出来るように、また保護者より相談して良かったと思ってもらえるような助言が出来るように今後も研鑽を積んでいきます。

28 父母の会の活動を支援したり、学習会、懇親会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか
5 件の回答



〈今後の方策〉

今年度は、行事が 3 回、茶話会 2 回、学習会 1 回計画しています。今後もきずな園父母と先生の会の活動を事務局として支えていきます。

29 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか

5 件の回答



〈今後の方策〉

苦情の申し入れはありませんでしたが、苦情等があった際は、苦情解決責任者のもと迅速に対応していきます。

30 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

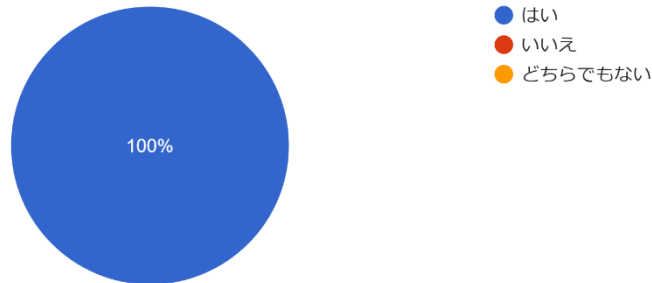
5 件の回答



〈今後の方策〉

偶数月に園だよりを計画的に発行し、行事や学習会などの情報を発信しています。

31 個人情報の取り扱いに十分注意しているか
5件の回答



<今後の方策>

引き続き慎重な取り扱いに留意していきます。

32 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか
5件の回答



<今後の方策>

今後も利用児童それぞれの発達段階に応じたコミュニケーション手段で伝えていくことを心掛けます。また保護者への説明の際には、なるべく専門用語を使わずにわかりやすい説明を心掛けていきます。

33 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか

5 件の回答



〈今後の方策〉

きずな園事務所のカウンターで閲覧できるようになっています。今後も保護者には園だよりを通じて、定期的に周知の発信をしていきます。

34 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか

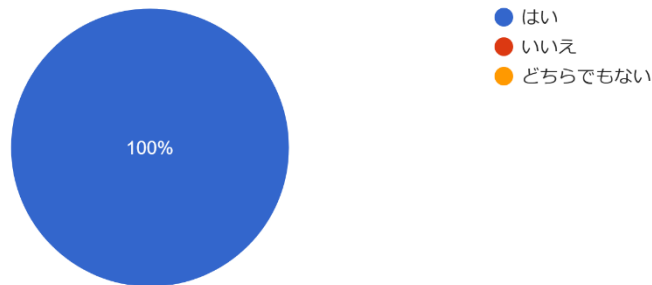
5 件の回答



〈今後の方策〉

今年度は、11 月 13 日に役場と保健福祉センター合同で避難訓練を実施しました。訓練時刻にきずな園を利用していた児童には避難に協力してもらいました。

35 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか
5 件の回答



〈今後の方策〉

今年度は、虐待防止委員会の研修を 1 回実施しています。今後も虐待防止等に関する研修を年 1 回 11 月頃に実施していきます。

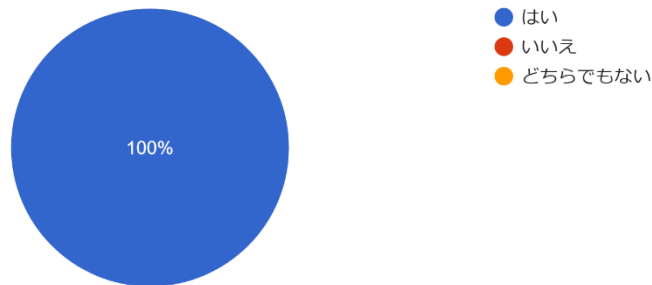
36 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援を行っているか
5 件の回答



〈今後の方策〉

年 1 回虐待防止委員会を開催し、職員に研修を行っています。また個別支援計画書にも身体拘束についての説明を明記しています。

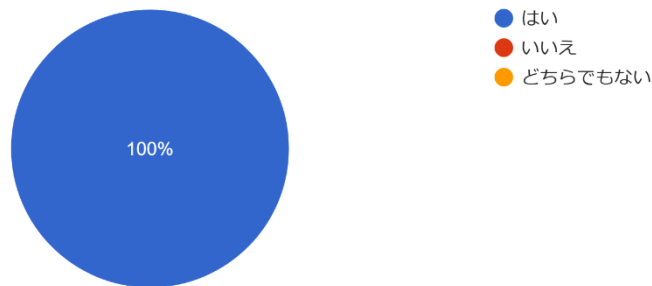
37 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか
5件の回答



〈今後の方策〉

調理実習以外、食事を提供する機会はありませんが、その際はアレルギーの有無を保護者に確認して行っています。

38 小さな事故でも報告を行い事業所内で共有しているか
5件の回答



〈今後の方策〉

ケガや事故につながる恐れがある場合は、小さなことでもすぐに職員間で状況を共有し合い、早急に対策を講じていく職場環境を今後も継続していきます。